

**製品名: PU.1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16688**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	32kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SPI1
別名	SPI1; Transcription factor PU.1; 31 kDa-transforming protein
遺伝子 ID	6688.0
SwissProt ID	P17947
免疫原	抗血清はヒト SPI1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 181-230

**背景**

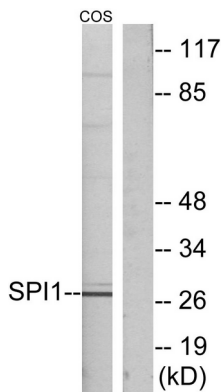
この遺伝子は、骨髄細胞および B リンパ球細胞の分化において遺伝子発現を活性化する ETS ドメイン転写因子をコードしています。この核タンパク質は、標的遺伝子のプロモーター近傍に存在する PU ボックスと呼ばれるプリンに富む配列に結合し、他の転写因子や

補因子と協調して遺伝子発現を制御します。また、標的遺伝子の選択的スプライシングも制御します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: リンパ球特異的エンハンサーとして機能するプリンに富む DNA 配列 (5'-GAGGAA-3') である PU ボックスに結合します。このタンパク質は転写活性化因子であり、マクロファージや B 細胞の分化や活性化に特異的に関与している可能性があります。RNA にも結合し、pre-mRNA スプライシングを調節する可能性がある。誘導: SFFV の挿入により Spi-1 遺伝子の再編成を受けた FV-P および FV-A 誘導性赤血球白血病細胞株の両方で高発現する。類似性: ETS ファミリーに属する。類似性: 1 つの ETS DNA 結合ドメインを含む。サブユニット: モノマーとして DNA に結合する。RUNX1 および SPIB と相互作用する。CEBPD および NONO と相互作用する。

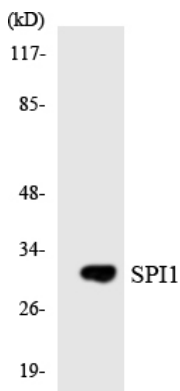
## 研究分野

がんの経路;急性骨髄性白血病;

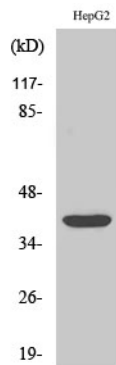
## 画像データ



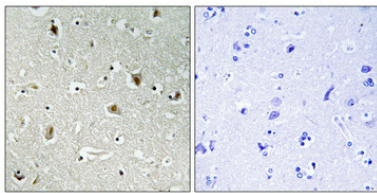
SPI1 抗体を用いた COS7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



SPI1 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



PU.1 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタン ブロット分析。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。